

山口県人口の動き

～ 平成27年山口県人口移動統計調査概要 ～

I 山口県人口の推移

1 総人口

平成27年10月1日現在の山口県人口は、1,404,729人(国調確定値)であり、前年に比べ10,348人減少している。

過去の推移をみると、昭和33年の1,622,909人をピークに減少に転じた人口は、昭和45年の1,511,448人を境に小幅ではあるが年々増加していた。

しかし、昭和60年の1,601,627人を頂点に再び減少に転じ、平成27年に至るまで減少を続けている。

なお、平成27年(1月1日～12月31日)の人口増減をみると、自然増減は8,012人の減少、県外転入・転出に伴う社会増減は3,225人の減少となっている。

表1 総人口の推移

(単位:人)

年次	総人口	対前年増減		年次	総人口	対前年増減	
			率(%)				率(%)
昭和 22 年	1 479 244	103 748	7.5	57	1 598 136	5 852	0.4
23	1 505 532	26 288	1.8	58	1 599 747	1 611	0.1
24	1 551 600	46 068	3.1	59	1 600 346	599	0.0
25	1 540 882	△ 10 718	△0.7	60	1 601 627	1 281	0.1
26	1 552 680	11 798	0.8	61	1 598 376	△ 3 251	△0.2
27	1 573 244	20 564	1.3	62	1 593 302	△ 5 074	△0.3
28	1 588 111	14 867	0.9	63	1 588 337	△ 4 965	△0.3
29	1 599 036	10 925	0.7	平成 元 年	1 581 766	△ 6 571	△0.4
30	1 609 839	10 803	0.7	2	1 572 616	△ 9 150	△0.6
31	1 617 219	7 380	0.5	3	1 567 343	△ 5 273	△0.3
32	1 619 072	1 853	0.1	4	1 563 840	△ 3 503	△0.2
33	1 622 909	3 837	0.2	5	1 560 342	△ 3 498	△0.2
34	1 617 721	△ 5 188	△0.3	6	1 558 661	△ 1 681	△0.1
35	1 602 207	△ 15 514	△1.0	7	1 555 543	△ 3 118	△0.2
36	1 593 529	△ 8 678	△0.5	8	1 550 853	△ 4 690	△0.3
37	1 584 906	△ 8 623	△0.5	9	1 546 381	△ 4 472	△0.3
38	1 569 018	△ 15 888	△1.0	10	1 541 553	△ 4 828	△0.3
39	1 551 283	△ 17 735	△1.1	11	1 535 815	△ 5 738	△0.4
40	1 543 573	△ 7 710	△0.5	12	1 527 964	△ 7 851	△0.5
41	1 533 848	△ 9 725	△0.6	13	1 522 056	△ 5 908	△0.4
42	1 529 430	△ 4 418	△0.3	14	1 515 792	△ 6 264	△0.4
43	1 518 871	△ 10 559	△0.7	15	1 508 874	△ 6 918	△0.5
44	1 512 739	△ 6 132	△0.4	16	1 501 489	△ 7 385	△0.5
45	1 511 448	△ 1 291	△0.1	17	1 492 606	△ 8 883	△0.6
46	1 513 571	2 123	0.1	18	1 484 233	△ 8 373	△0.6
47	1 524 008	10 437	0.7	19	1 475 434	△ 8 799	△0.6
48	1 531 767	7 759	0.5	20	1 466 735	△ 8 699	△0.6
49	1 542 259	10 492	0.7	21	1 459 570	△ 7 165	△0.5
50	1 555 218	12 959	0.8	22	1 451 338	△ 8 232	△0.6
51	1 564 803	9 585	0.6	23	1 443 706	△ 7 632	△0.5
52	1 572 493	7 690	0.5	24	1 434 196	△ 9 510	△0.7
53	1 579 666	7 173	0.5	25	1 424 540	△ 9 656	△0.7
54	1 582 671	3 005	0.2	26	1 415 077	△ 9 463	△0.7
55	1 587 079	4 408	0.3	27	1 404 729	△ 10 348	△0.7
56	1 592 284	5 205	0.3				

(注) 1 各年10月1日現在(ただし、昭和23年は8月1日現在)

2 昭和22年は、「臨時国勢調査」による現在人口、昭和23年は、「常住人口調査」による人口

3 昭和25、30、35、40、45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27年は、総務省「国勢調査」による常住人口

4 昭和41～44年、46～49年、51～54年、56～59年、61～平成元年、3～6年、8～11年、13～16年、18～21年、23～26年は、国勢調査の確定値に基づき、補間法により補正した県推計人口

5 その他の年は、総務省「10月1日現在推計人口」

2 男女別人口

総人口を男女別にみると、男性が女性より74,713人少なく、人口性比(女性100人に対する男性の数)は、平成22年に比べ0.7ポイント増の89.9となっている。

表3 男女別人口の推移

(単位:人)

年次	総人口	人口性比		年次	総人口	人口性比	
		男	女			男	女
昭和 40	1 543 573	740 934	802 639 92.3	平成 7	1 555 543	736 555	818 988 89.9
45	1 511 448	719 147	792 301 90.8	12	1 527 964	722 683	805 281 89.7
50	1 555 218	743 833	811 385 91.7	17	1 492 606	703 721	788 885 89.2
55	1 587 079	759 255	927 824 91.7	22	1 451 338	684 176	767 162 89.2
60	1 601 627	763 803	837 824 91.2	27	1 404 729	665 008	739 721 89.9
平成 2	1 572 616	744 844	827 772 90.0				

(注) 各年10月1日現在、総務省「国勢調査」による常住人口

3 市部・郡部別人口

総人口を市部・郡部別にみると、市部の構成比は95.9%を占めており、市町村合併が進んだことにより人口の大半が市部に集中している。

表4 市部・郡部別人口の推移

(単位:人)

年次	総人口	市部		郡部		年次	総人口	市部		郡部	
		構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)			構成比(%)	構成比(%)		
										昭和 40	1 543 573
45	1 511 448	1 422 702 94.1	88 746 5.9	12	1 527 964	1 458 560 95.5	69 404 4.5				
50	1 555 218	1 468 945 94.5	86 273 5.5	17	1 492 606	1 426 476 95.6	66 130 4.4				
55	1 587 079	1 500 743 94.6	86 336 5.4	22	1 451 338	1 389 324 95.7	62 014 4.3				
60	1 601 627	1 520 631 94.9	80 996 5.1	27	1 404 729	1 346 864 95.9	57 865 4.1				
平成 2	1 572 616	1 496 069 95.1	76 547 4.9								

(注) 1 各年10月1日現在、総務省「国勢調査」による常住人口

2 市部・郡部は、平成27年10月1日現在の行政区画に組み替えて算出

4 地域別人口

総人口を地域別にみると、山口・防府地域のみ増加しており、その他の地域は減少傾向にある。
構成比は、平成22年に比べ、山口・防府、周南地域で増加し、下関、岩国、柳井、萩、長門地域で減少している。宇部・小野田地域は横ばいとなっている。

表5 地域別人口の推移

年次	総人口	岩国	柳井	周南	山口・防府	宇部・小野田	下関	長門	萩
		実数 (単位:人)							
昭和 40 年	1 543 573	169 042	110 718	250 179	256 561	289 615	317 146	57 669	92 643
45	1 511 448	165 078	101 891	263 384	257 356	269 518	315 603	53 247	85 371
50	1 555 218	169 125	98 962	286 706	270 010	274 640	322 300	51 421	82 054
55	1 587 079	171 208	95 824	295 662	285 058	281 839	325 478	50 892	81 118
60	1 601 627	169 010	92 732	296 715	301 216	288 368	324 585	50 259	78 742
平成 2 年	1 572 616	165 379	87 914	290 602	305 427	285 539	315 643	47 656	74 456
7	1 555 543	163 306	83 221	286 644	311 975	283 912	310 717	45 565	70 203
12	1 527 964	160 717	79 151	281 381	314 839	281 006	301 097	43 473	66 300
17	1 492 606	156 143	75 228	276 154	316 115	275 055	290 693	41 127	62 091
22	1 451 338	150 235	70 637	273 489	313 239	266 952	280 947	38 349	57 490
27	1 404 729	143 042	65 745	267 340	313 364	258 259	268 517	35 439	53 023
		対前回増減率 (単位:%)							
昭和 40 年	△ 3.7	△ 1.2	△ 8.9	4.7	△ 10.7	△ 3.6	0.0	△ 8.3	△ 10.3
45	△ 2.1	△ 2.3	△ 8.0	5.3	0.3	△ 6.9	△ 0.5	△ 7.7	△ 7.8
50	2.9	2.5	△ 2.9	8.9	4.9	1.9	2.1	△ 3.4	△ 3.9
55	2.0	1.2	△ 3.2	3.1	5.6	2.6	1.0	△ 1.0	△ 1.1
60	0.9	△ 1.3	△ 3.2	0.4	5.7	2.3	△ 0.3	△ 1.2	△ 2.9
平成 2 年	△ 1.8	△ 2.1	△ 5.2	△ 2.1	1.4	△ 1.0	△ 2.8	△ 5.2	△ 5.4
7	△ 1.1	△ 1.3	△ 5.3	△ 1.4	2.1	△ 0.6	△ 1.6	△ 4.4	△ 5.7
12	△ 1.8	△ 1.6	△ 4.9	△ 1.8	0.9	△ 1.0	△ 3.1	△ 4.6	△ 5.6
17	△ 2.3	△ 2.8	△ 5.0	△ 1.9	0.4	△ 2.1	△ 3.5	△ 5.4	△ 6.3
22	△ 2.8	△ 3.8	△ 6.1	△ 1.0	△ 0.9	△ 2.9	△ 3.4	△ 6.8	△ 7.4
27	△ 3.2	△ 4.8	△ 6.9	△ 2.2	0.0	△ 3.3	△ 4.4	△ 7.6	△ 7.8
		構 成 比 (単位:%)							
昭和 40 年	100.0	11.0	7.2	16.2	16.6	18.8	20.5	3.7	6.0
45	100.0	10.9	6.7	17.4	17.0	17.8	20.9	3.5	5.6
50	100.0	10.9	6.4	18.4	17.4	17.7	20.7	3.3	5.3
55	100.0	10.8	6.0	18.6	18.0	17.8	20.5	3.2	5.1
60	100.0	10.6	5.8	18.5	18.8	18.0	20.3	3.1	4.9
平成 2 年	100.0	10.5	5.6	18.5	19.4	18.2	20.1	3.0	4.7
7	100.0	10.5	5.3	18.4	20.1	18.3	20.0	2.9	4.5
12	100.0	10.5	5.2	18.4	20.6	18.4	19.7	2.8	4.3
17	100.0	10.5	5.0	18.5	21.2	18.4	19.5	2.8	4.2
22	100.0	10.4	4.9	18.8	21.6	18.4	19.4	2.6	4.0
27	100.0	10.2	4.7	19.0	22.3	18.4	19.1	2.5	3.8

(注) 各年10月1日現在、総務省「国勢調査」による常住人口

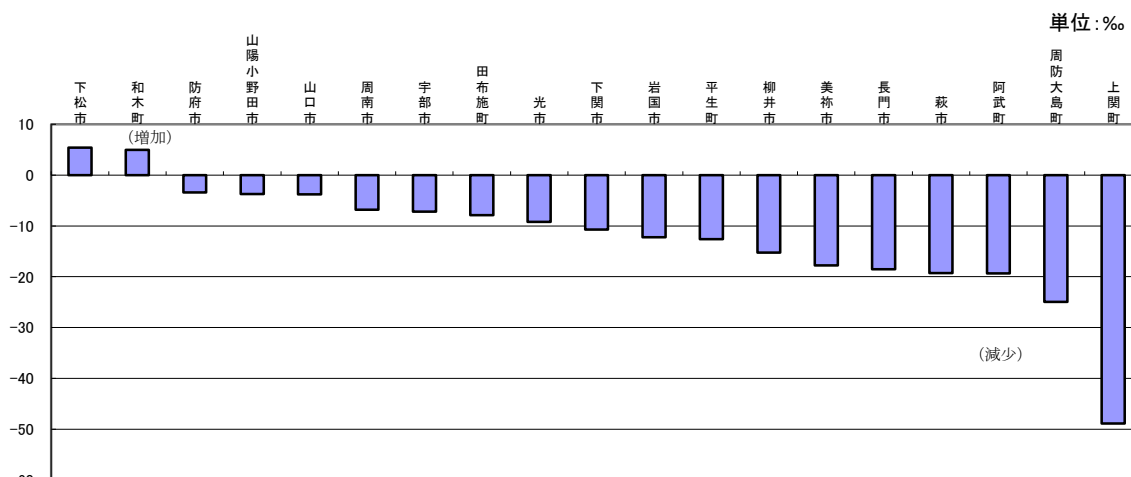
II 平成27年の人口移動概要

1 市町別 総人口の増減状況

総人口の増減を市町別にみると、19市町のうち、前年に比べ人口が増加したのは、下松市、和木町の2市町で、その他の17市町では人口が減少した。
 総人口の増減率(人口千対)及び増加数が最も大きいのは下松市で5.4%、302人となっている。
 一方、総人口の増減率(人口千対)が最も低いのは上関町で△48.9%、減少数が最も大きいのは下関市で△2,882人となっている。

(統計表第1-4表参照)

図1 市町別 総人口の増減率(人口千対)



(注) 総人口の増減率=(総人口増減÷平成27年10月1日現在人口(国調確定値))×1,000

2 自然動態

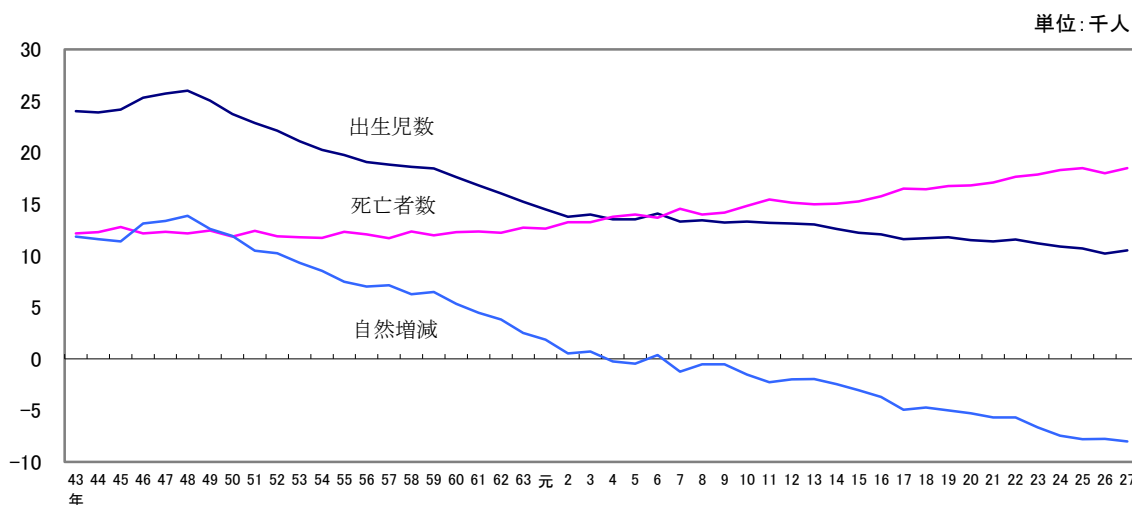
(1) 年次別 出生児・死亡者数

平成27年は、出生児数は前年に比べ225人増の10,453人、死亡者数は467人増の18,465人で、差し引き8,012人の自然減となっている。

過去の推移をみると、自然増減は平成7年以降21年連続の減少となっている。また、出生児数が昭和49年以降減少傾向にある一方、死亡者数は増加傾向にあるため、長期的にみて減少幅は拡大傾向にある。

(統計表第1-2表参照)

図2 年次別 出生児・死亡者数の推移

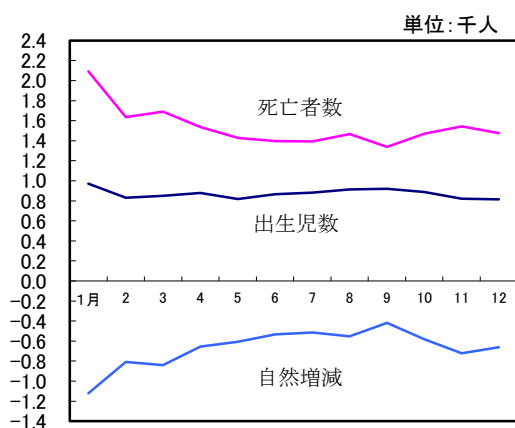


(2) 月別 出生児・死亡者数

出生児・死亡者数を月別にみると、出生児数は1月(970人)が最も多く、次いで9月(920人)、8月(913人)などとなっている。また、死亡者数は1月(2,092人)が最も多く、次いで3月(1,691人)、2月(1,637人)などとなっている。

(統計表第3表、第4表参照)

図3 月別出生児・死亡者数



(3) 普通出生率(人口千対)

普通出生率は、全県7.4‰、市部7.5‰、郡部5.7‰で、前年に比べ、全県で0.1ポイント、市部で0.2ポイント、郡部で0.2ポイント増加している。

市町別にみると、普通出生率が最も高かったのは和木町で12.3‰、次いで下松市(8.9‰)、防府市(8.8‰)などとなっている。

一方、普通出生率が最も低かったのは周防大島町で3.4‰、次いで美祢市(4.3‰)、上関町(5.0‰)などとなっている。

(統計表第1-2表参照)

表6 普通出生率が高い市町

順位	市	町	普通出生率(‰)
1	和	木	12.3
2	下	松	8.9
3	防	府	8.8
4	山	口	8.0
4	宇	部	8.0
6	周	南	7.8
7	岩	国	7.5
8	山	陽	7.4
9	下	関	7.3
10	光	市	6.8

表7 普通出生率が低い市町

順位	市	町	普通出生率(‰)
1	周	防	3.4
2	美	祢	4.3
3	上	関	5.0
4	長	門	5.1
5	萩	市	5.2
6	田	布	5.6
7	阿	武	5.8
8	平	生	6.0
9	柳	井	6.2

(注) 普通出生率=(出生児数÷平成27年10月1日現在人口(国調確定値))×1,000

(4) 普通死亡率(人口千対)

普通死亡率は、全県13.1‰、市部13.0‰、郡部17.6‰で、前年に比べ全県で0.3ポイント、市部で0.4ポイント増加し、郡部で0.3ポイント低下している。

市町別にみると、普通死亡率が最も高いのは上関町で34.2‰、次いで阿武町(26.6‰)、周防大島町(23.3‰)などとなっている。

一方、普通死亡率が最も低いのは和木町で10.5‰、次いで山口市(10.9‰)、防府市(11.3‰)などとなっている。

(統計表第1-2表参照)

(5) 自然増減率(人口千対)

自然増減率は、全県△5.7‰(△8,012人)、市部△5.4‰(△7,328人)、郡部△11.8‰(△684人)で、前年に比べ全県及び市部で0.2ポイント減少幅が拡大、郡部では前年に比べ0.7ポイント減少幅が縮小している。

市町別にみると、自然増減率が増加となったのは和木町のみで、自然増加率は1.8‰となっている。

一方、自然減少率が最も高かったのは上関町で29.3‰、次いで阿武町(20.8‰)、周防大島町(19.9‰)などとなっている。

(統計表第1-2表参照)

表8 普通死亡率が高い市町

順位	市	町	普通死亡率(‰)
1	上	関	34.2
2	阿	武	26.6
3	周	防	23.3
4	萩	市	18.2
5	長	門	17.6
6	柳	井	16.7
6	美	祢	16.7
8	平	生	14.3
9	岩	国	13.8
10	下	関	13.7

表9 普通死亡率が低い市町

順位	市	町	普通死亡率(‰)
1	和	木	10.5
2	山	口	10.9
3	防	府	11.3
3	下	松	11.3
5	田	布	11.7
6	宇	部	12.1
7	光	市	12.2
8	周	南	12.4
9	山	陽	12.9

表10 自然増加率が高い市町

順位	市	町	自然増加率(‰)
1	和	木	1.8
2	-	-	-
3	-	-	-
4	-	-	-
5	-	-	-
6	-	-	-
7	-	-	-
8	-	-	-
9	-	-	-
10	-	-	-

表11 自然減少率が高い市町

順位	市	町	自然減少率(‰)
1	上	関	29.3
2	阿	武	20.8
3	周	防	19.9
4	萩	市	13.0
5	長	門	12.5
6	美	祢	12.3
7	柳	井	10.5
8	平	生	8.3
9	下	関	6.4
9	岩	国	6.4

(注) 普通死亡率=(死亡者数÷平成27年10月1日現在人口(国調確定値))×1,000

(注) 自然増減率=(自然増減数÷平成27年10月1日現在人口(国調確定値))×1,000

3 社会動態 (1) 社会移動

ア 社会移動の内訳

社会移動者数(職権により記載・消除された者等を除く。)は、全県で74,753人(うち県外転入者数26,002人、県外転出者数29,227人、県内移動者数(転入ベース)19,524人)であり、移動率(人口千対)は53.2%となっている。

社会移動者数は、前年に比べ890人増加し、移動率は0.8ポイント上昇している。

県外・県内別の割合をみると、県外移動者数は73.9%、県内移動者数は26.1%とほぼ例年どおりの傾向となっている。

男女別の割合をみると、男性が55.5%、女性が44.5%となっている。これを県外・県内別にみると、男性が女性に比べ、県外移動では9.5ポイント、県内移動では1.5ポイント高くなっている。

(注)移動率=(社会移動者数÷平成27年10月1日現在人口(国調確定値))×1,000

(統計表第1-3表参照)

図4 社会移動の県外・県内別内訳

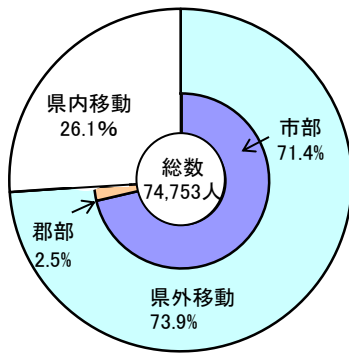
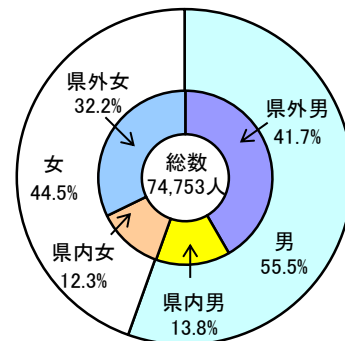


図5 社会移動の男女別内訳

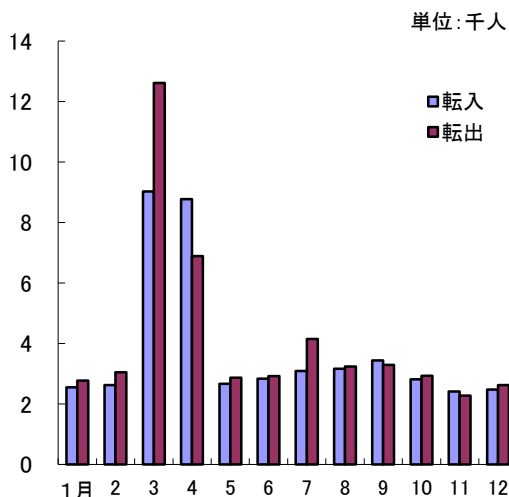


イ 月別 移動状況

社会移動者数を月別にみると、3月の21,636人(うち転入者数9,026人、転出者数12,610人)、4月の15,654人(うち転入者数8,767人、転出者数6,887人)が特に多く、3月は3,584人の転出超過、4月は1,880人の転入超過となっている。

(統計表第5表、第6表参照)

図6 月別 転入・転出者数



(注)1 県内転入、転出及び職権による記載・消除を含む。

ウ 社会増減率(人口千対)

社会増減率は、全県△2.7%(△3,764人)、市部△2.6%(△3,564人)、郡部△3.5%(△200人)で、全県及び市部は前年度と同率、郡部では前年に比べ0.3ポイント減少幅が縮小している。

市町別にみると、社会増加率が最も高かったのは下松市で7.8%、次いで和木町(3.2%)、山陽小野田市(1.9%)などとなっている。

一方、社会減少率が最も高かったのは上関町で19.6%、次いで萩市(6.3%)、長門市(6.0%)などとなっている。

(統計表第1-3表参照)

表12 社会増加率が高い市町

順位	市 町	社会増加率(%)
1	下松市	7.8
2	和木町	3.2
3	山陽小野田市	1.9
4	阿武町	1.4
5	-	-
6	-	-
7	-	-
8	-	-
9	-	-
10	-	-

表13 社会減少率が高い市町

順位	市 町	社会減少率(%)
1	上関町	19.6
2	萩市	6.3
3	長門市	6.0
4	岩国市	5.8
5	美祢市	5.4
6	周防大島町	5.1
7	柳井市	4.7
8	下関市	4.3
8	平生町	4.3
10	光市	3.8

(注)1 県内転入・転出及び職権による記載・消除を含む。

2 社会増減率=(社会増減数÷平成27年10月1日現在人口(国調確定値))

(2) 県外移動

ア 年次別県外転入・転出状況

平成27年の県外転入者数は26,002人、県外転出者数は29,227人で、差し引き3,225人の転出超過となっており、前年に比べ転出超過が198人拡大している。

(統計表第1-3表参照)

イ 月別県外転入・転出状況

県外転入・転出状況を月別にみると、3月の転出超過数は2,761人、4月の転入超過数は1,175人となっており、年度替わりの3月・4月は、その他の月に比べ転入・転出超過数が大きくなっている。

(統計表第5表、第6表参照)

図7 年次別 県外転入・転出者数の推移

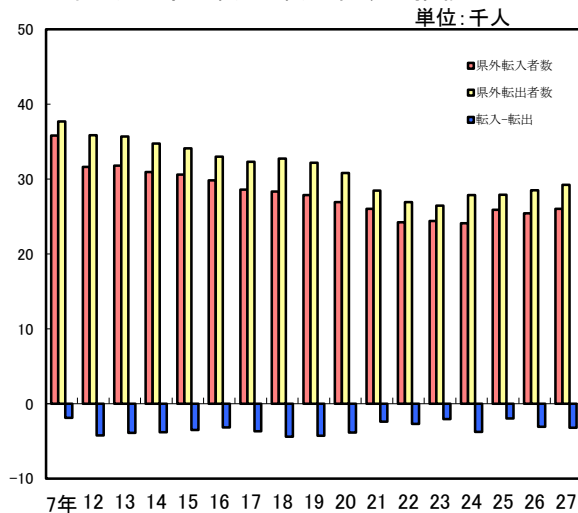
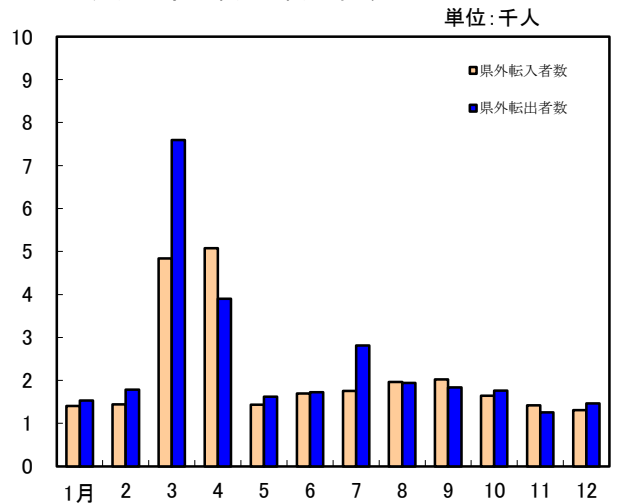


図8 月別 県外転入・転出者数



Ⅲ 山口県年齢別推計人口

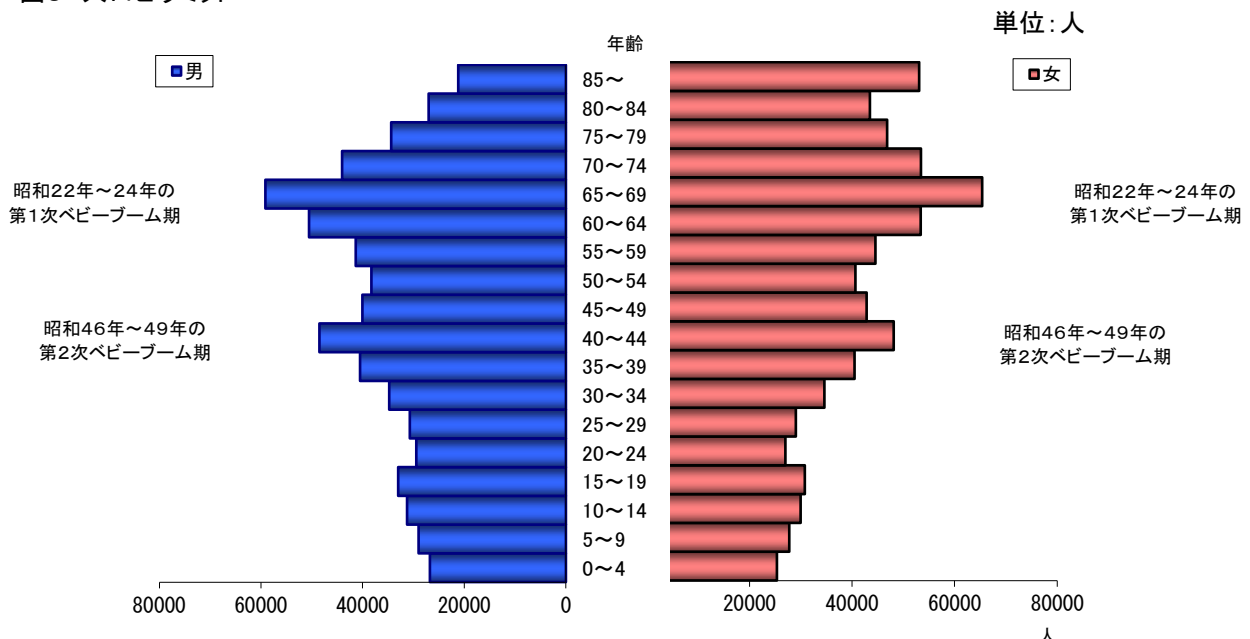
1 山口県の状況

(1) 年齢(5歳階級)別の構成

平成27年の人口ピラミッドをみると、男女とも65～69歳と40～44歳をピークとした2つのふくらみで構成されている。これは、それぞれ第1次ベビーブーム期と第2次ベビーブーム期の影響によるものと考えられる。

(統計表第7表参照)

図9 人口ピラミッド



(2) 年齢(3区分)別人口の推移

平成27年の山口県人口を年齢(3区分)別にみると、15歳未満人口は170,022人(構成割合12.2%)、15～64歳人口は778,430人(55.7%)、65歳以上人口は447,862人(32.1%)となっている。また、65歳以上人口のうち75歳以上の人口は225,920人(16.2%)となっており、15歳未満人口を55,898人上回っている。

前年に比べ、15歳未満人口は4,495人(0.2ポイント)の減少、15～64歳人口は14,572人(0.6ポイント)の減少、65歳以上人口は6,481人(0.8ポイント)の増加となっている。

(統計表第7表参照)

図10 年齢(3区分)別人口の推移

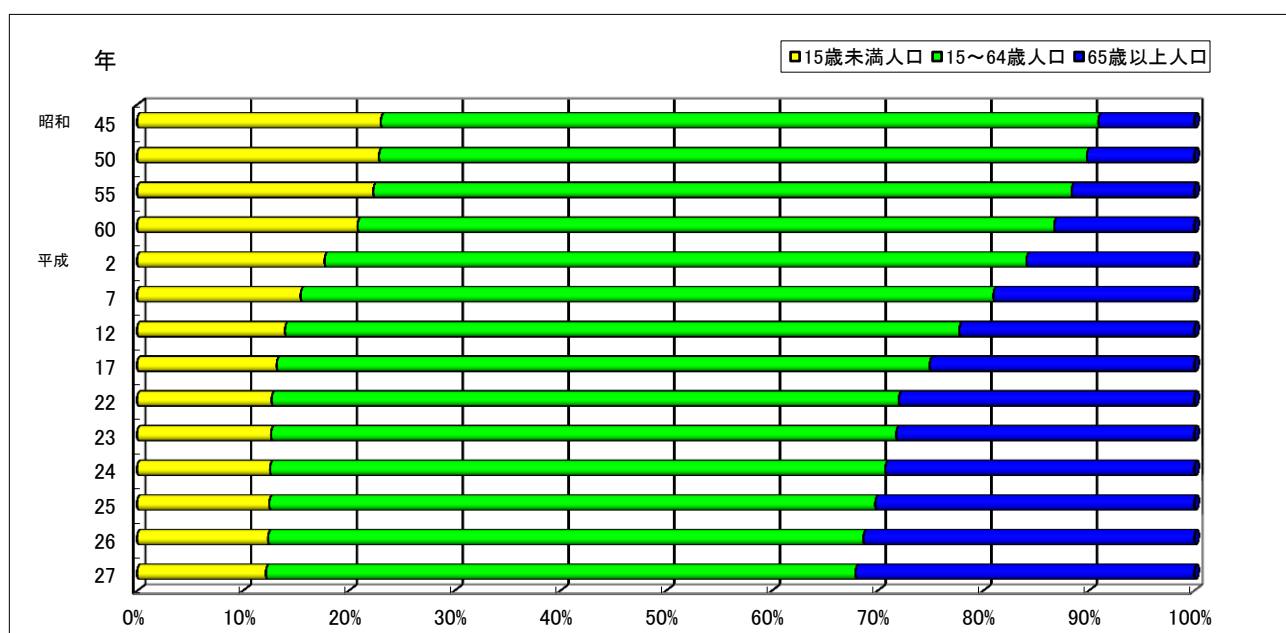


表14 年齢(3区分)別人口の推移

年次	総人口	実数(人)				構成割合(%)			
		15歳未満人口	15～64歳人口	65歳以上人口	うち75歳以上	15歳未満人口	15～64歳人口	65歳以上人口	うち75歳以上
昭和45	1 511 448	348 362	1 025 839	137 247	44 421	23.0	67.9	9.1	2.9
昭和50	1 555 218	355 657	1 041 291	158 042	54 723	22.9	67.0	10.2	3.5
昭和55	1 587 079	354 404	1 048 137	184 160	66 699	22.3	66.1	11.6	4.2
昭和60	1 601 627	333 923	1 055 436	212 237	83 318	20.8	65.9	13.3	5.2
平成2	1 572 616	278 562	1 042 910	249 488	103 462	17.7	66.4	15.9	6.6
平成7	1 555 543	240 469	1 018 839	295 702	122 231	15.5	65.5	19.0	7.9
平成12	1 527 964	213 578	974 131	339 836	147 763	14.0	63.8	22.2	9.7
平成17	1 492 606	196 729	920 531	373 346	181 725	13.2	61.8	25.0	12.2
平成22	1 451 338	184 049	857 956	404 694	210 782	12.7	59.3	28.0	14.6
平成27	1 404 729	170 022	778 430	447 862	225 920	12.2	55.7	32.1	16.2

(注) 総人口には年齢不詳を含む。

2 市町の状況

年齢(3区分)別人口を市町別にみると、15歳未満人口の構成割合が最も大きいのは和木町の16.6%で、次いで下松市(14.2%)、山口市(13.4%)などとなっている。15～64歳人口の構成割合が最も大きいのは山口市の59.4%で、次いで和木町(58.4%)、防府市(57.7%)などとなっている。65歳以上人口の構成割合が最も大きいのは上関町の53.7%で、次いで周防大島町(51.9%)、阿武町(46.4%)などとなっている。

また、65歳以上人口のうち75歳以上の構成割合が最も大きいのは上関町の32.5%で、次いで周防大島町30.5%)、阿武町(28.1%)などとなっている。

(統計表第8表、第9表参照)

図11 年齢(3区分)、市町別人口の状況

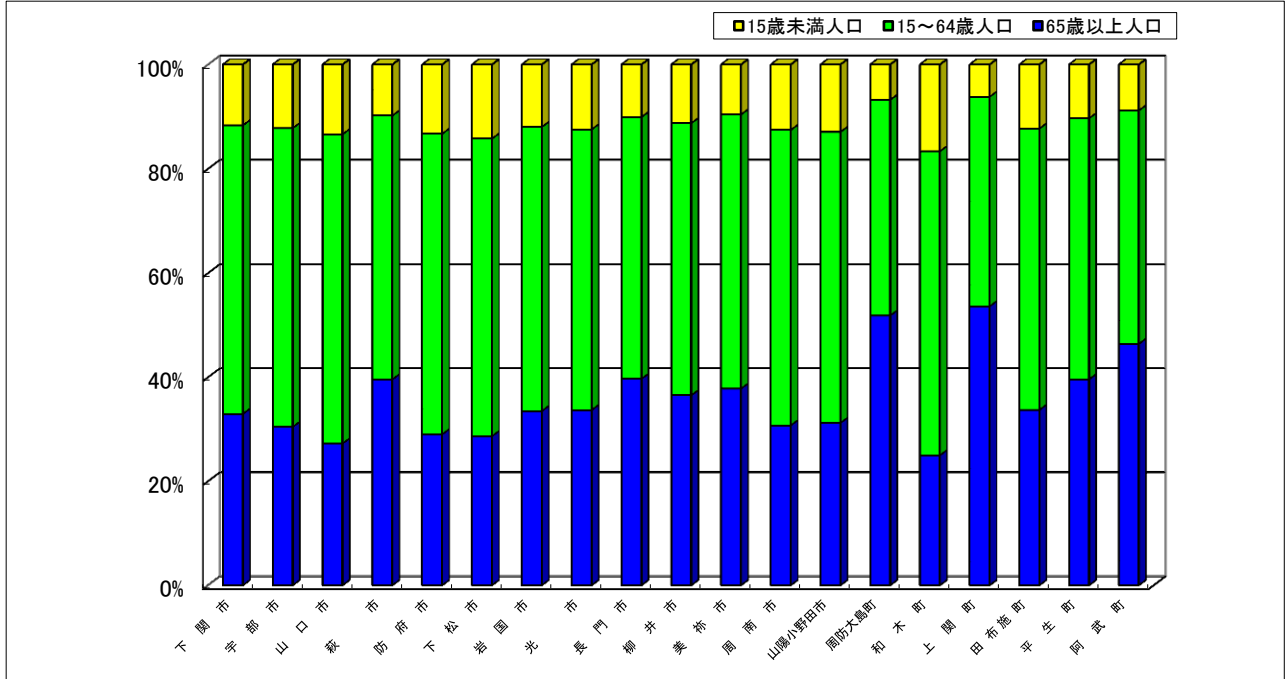


表15 年齢(3区分)、市町別人口の状況

市 町	総人口	実 数 (人)				構 成 割 合 (%)			
		15歳未満人口	15～64歳人口	65歳以上人口	うち 75歳以上	15歳未満人口	15～64歳人口	65歳以上人口	うち 75歳以上
下 関 市	268 517	31 116	147 954	88 073	44 724	11.6	55.4	33.0	16.7
宇 部 市	169 429	20 513	96 548	51 303	24 979	12.2	57.3	30.5	14.8
山 口 市	197 422	26 118	116 106	53 325	26 974	13.4	59.4	27.3	13.8
萩 市	49 560	4 835	25 031	19 591	10 551	9.8	50.6	39.6	21.3
防 府 市	115 942	15 331	66 700	33 582	16 435	13.3	57.7	29.0	14.2
下 松 市	55 812	7 855	31 598	15 875	7 315	14.2	57.1	28.7	13.2
岩 国 市	136 757	16 187	73 838	45 401	23 713	12.0	54.5	33.5	17.5
光 市	51 369	6 370	27 617	17 289	7 891	12.4	53.9	33.7	15.4
長 門 市	35 439	3 560	17 793	14 070	7 639	10.0	50.2	39.7	21.6
柳 井 市	32 945	3 690	17 149	12 008	6 183	11.2	52.2	36.6	18.8
美 祢 市	26 159	2 502	13 749	9 887	5 393	9.6	52.6	37.8	20.6
周 南 市	144 842	17 992	81 321	44 114	21 278	12.5	56.7	30.8	14.8
山陽小野田市	62 671	8 080	34 933	19 537	9 678	12.9	55.8	31.2	15.5
周防大島町	17 199	1 162	7 106	8 914	5 244	6.8	41.4	51.9	30.5
和 木 町	6 285	1 044	3 666	1 570	794	16.6	58.4	25.0	12.6
上 関 町	2 803	173	1 126	1 504	912	6.2	40.2	53.7	32.5
田 布 施 町	15 317	1 875	8 250	5 153	2 457	12.3	54.0	33.7	16.1
平 生 町	12 798	1 314	6 395	5 058	2 788	10.3	50.1	39.6	21.8
阿 武 町	3 463	305	1 550	1 608	972	8.8	44.8	46.4	28.1

(注) 総人口には年齢不詳を含む。